

「SORAデザイン」がつくった
井ノ池郡在住 / 丁さんの住まい

シンプルで自由な家族の暮らしを 優しく包む平屋の家

柔らかな天然木材の床と優しい塗り壁が
家族4人を温かく包む空間は、
深呼吸したくなる空気に包まれている。
シンプルでゆったりしたこの家で
家族は日々「ささやかな
楽しみを発見している。



ダイニングテーブルを兼ねたコの字型のキッチンが、この家の中心。ゆったり暮らせる畳貼りのベンチは、家族の大切な居場所。



会話が生まれる土間の玄関。
そして、謎の洞窟が…!?



モルタル打ちっ放しの広い玄関。横には壁一面のげた箱を建て付け、潜り戸の奥に6畳もの「収納洞窟」を作った。何だか隠れたいくなる

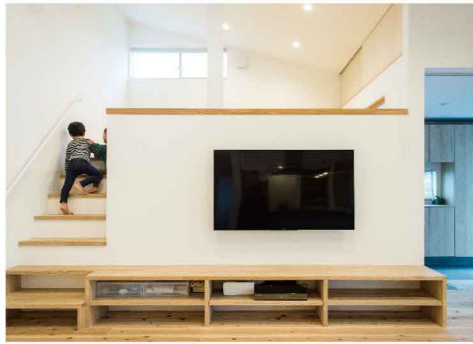
地震で一度は頓挫するも
温かな対応に励まされた

土間のような玄関を入ると、正面には秘密基地のような潜り戸の収納、そして左手に広がるLDK。モノが少ないスッキリとした空間で、コの字型のキッチンの存在感が際立っている。「職場の先輩がSORAデザインで家を建てて、コの字のキッチンに一目惚れしました」とご主人。アパートの家賃を払うのがもったいなくて家づくりを考えていた頃。いくつかの展示場や住宅会社を見たが、カタログから選ぶだけの家づくりにピンと来てい



なかった。時には強烈的な営業への対応に辟易とすることも。「SORAデザインはすごく予算を尊重してくれながら、とても自由につくれるよ」、そんな先輩の声に、夫婦はワクワクして事務所を訪問した。「売り込みの話は一切なく、逆に売らなくて大丈夫？」と心配になったほど(笑)。家の話が熱く楽しくできて、その人柄がとても信頼でき「たんです」と、ご主人は決め手を語った。

西原村で土地も決まり間もなく地鎮祭という時に、何と、熊本地震が発生。住む予定だったエリアに水が届かなくなり、土地の変更を余儀なくされた。「プランも決まって後は建てるだけ、という状態だったので、落ち込みました。でもSORAデザインさんはすぐに次の土地探しに協力してくれ、励まされました」。一度作った間取りを生かしながら、新しい土地に合わせて再プラン。「たぶん、イチから作るより難しかったと思います。でも、涼しい顔で作ってくれて、結果、より納得いく家になりました。本当に感謝です」。



壁掛けテレビの下に建て付けの棚。収納にもイスにもなって、使い方は自由自在。左の階段からはロフトへ



玄関収納上のデッドスペースを生かしたロフト。畳貼りで袋戸の収納もあり、客間としての活用も



私の すきな 場所

【キッチン】

奥さまの使いやすさに合わせて、少し高めに作ったキッチンカウンター。お気に入りの食器棚がすっぽり入る造りで、モノをスッキリ隠せるのもお気に入り

いつだって、
ママが見えるから安心。



「なんとなく居心地いい」が
最高の褒め言葉。



カーペットやソファがなくても、木の床にゴロンと寝転ぶのが気持ちいい。リビングは家族の優しい居場所



広い木の天板は、料理にも配膳にも使いやすく、片付けも楽々。居心地が良くて、「時間があればいつもここにいます」と奥さま

魔法のような設計で
不思議と全てが広がった！

T邸は大きなL字型の平屋造り。キッチンに立った奥様が、ウッドデッキを通して家中の気配を感じられる。そんな間取りが夫婦の憧れだった。「広めのウッドデッキ、広めの玄関、大きな靴箱、リビングも広め、キッチンも、お風呂の脱衣所もガレージも広め。最初に出した希望は全部「広め、大きめ」(笑)。狭くていいのは寝室くらいでした」と笑顔の奥さま。もちろん土地の広さは限られ、しかも平屋のオーダー。しかし、一見無茶振りにも思える要望にも、魔法のような設計で応えた。土間のように広く取った玄関からは、潜り戸を通って6畳もの広さがある収納に。その上の空間をゆったり広い畳のロフトに活用。お客さんが泊まりに来たときは客間にもできる。収納はなるべく建て付けて、余計な家具は置かない。希望した場所すべてが「広く、大きく」なった。しかも随所に遊び心が溢れ、家全体からゆとりを感じられるから、不思議だ。

絶対に無理はさせない
等身大の家づくりを徹底

奥さまが特に気に入っているのは、キッチンとお風呂・ランドリ、寝室へと続く動線だ。当初寝室と水廻りは壁で仕切られる予定だったが、「絶対便利だから！」と提案され、ドアをつけて回遊できる間取りになった。このたった1枚のドアが、驚く程家事を楽にしてくれた。

「SORAデザインの家づくりは、ただ自由につくるだけではないって所が、魅力なんです」とご主人は熱弁する。要望をヒアリングして形にしてくれるのは当然だが、ダメなところはダメとキツパリ言ってくれる点も爽快だった。将来買う家具家電の費用まで把握して、予算面で絶対に無理をさせない姿勢もありがたかったそう。「家のケア方法や、エアコンの温度設定までアドバイスしてくれて(笑)。住まいのプロだけど、頼りになる友人という感じで開懐して何でも話せる関係性が嬉しかった」。新たに生まれた「SORAデザイン」との絆も、家づくりの財産の一つだ。

新しい家族での楽しみを
日々発見できる家

一家がこの家に住み始めて8カ月ほどだが、LDKにはまだカーペットやソファは置いていない。「これだ、と思うモノとの出会いを待っているんですが、意外に何もなくても快適なんです」とご主人。気持ちのいい自然木の床は足や肌にも温かく、こだわりの塗り壁のおかげか空気がきれいに感じる。ここでゴロンと家族で寝転がりテレビを観るのが至福の時間。子ども達はウッドデッキや子ども部屋で遊びに興じるが、キッチンの方を向けばママが見える。ゆったり作られた空間のあちこちに家族の居場所があつて、どこかで互いの気配を感じられる。この家での過ごし方は自由自在、無限大。夏にウッドデッキで庭キャンプをしたいと目論むのはご主人。大型二輪免許を持つ奥様は、子育てが落ち着いたらバイクを持ちたいと思つている。家族のささやかな楽しみが、この家から次々と生まれ続ける。

家中は極力段差をなくしてある中で、ロフトの階段は楽しい遊び場。時には上のロフトで、パパが勉強していることも

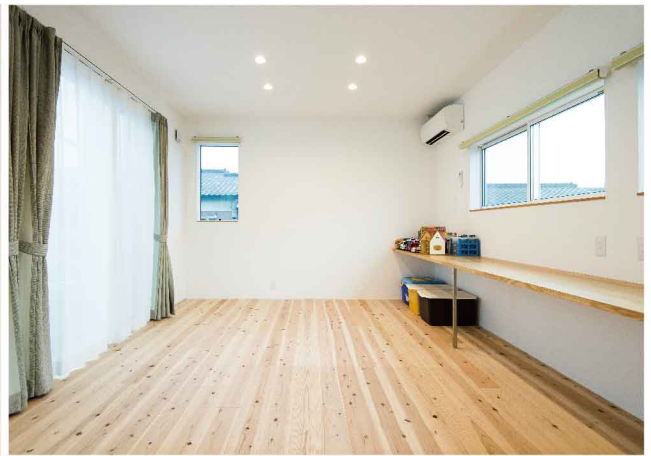
毎日、家のどこかで、
子ども達は冒険をする。



COMPANY DATA
株式会社 SORAデザイン
熊本市南区江越1-6-5
連絡先
TEL 096-288-9801
HPアドレス
www.soradesign.biz
詳しい情報は
96ページに掲載



お家の中には、
遊び場所がいっぱいだね！



上/子ども部屋は、カウンターを勉強机に。外のウッドデッキでLDKとつながっている。下/寝室だけは必要最低限のサイズに



絶対に広めが希望だった洗面・脱衣所。お手入れのしやすさと収納力にもしっかりこだわった

お風呂・ランドリー・脱衣所がキッチンと寝室をつなげている。廊下からは外にも出られて、洗濯物干しも楽々